

平成23年度いしかわ里山創成ファンド事業 チャレンジ支援事業一覧

	事業者名 (所在地)	代表者名	実施 地 域	事業名	事業概要
1	有限会社 大根音松商店 (七尾市)	代表取締役 大根 富男	七尾市	能登なまこを利用したスイーツの商品開発および販売事業	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年より、なまこの成分を抽出し、能登珪藻土と和倉の温泉水を配合した化粧石鹸「なまこ美人」を商品化。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コラーゲン豊富な能登なまこを使用したスイーツ(ヨーグルトプリン、ジェラートなど)の商品化。
2	株式会社 花月 (七尾市)	代表取締役 通 哲男	七尾市	能登島産赤土スイカ糖を利用した和菓子製作	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 能登島で生産されたスイカの規格外品の大半は県外の加工業者にまわっており、地元で有効活用されていない。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 能登島産赤土スイカから作ったスイカ糖を使った和菓子の商品化。
3	金蔵あかり会 (輪島市)	会 長 田中みなみ	輪島市	地域資源を活かした地産品の商品開発・発信・新しい販売方法の創出事業	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金蔵集落では、過疎高齢化が進むなか、平成12年に地元有志により地域おこしを目的とした「金蔵学校」を立ち上げ、様々な活動を実施。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金蔵みそを活用した商品(山椒みそ、ゆずみそ、なんばみそ、ふきのとうみそ、みそだれ等)を開発し、郷土料理のメニュー化とあわせ訪問客へ販売。
4	金沢市農業協同組合 (金沢市)	組合長 上坂 英善	金沢市	加賀野菜の金時草を用いた青汁(健康飲料)の商品化と中山間地域の活性化	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビタミンAや鉄分、アントシアニンなどが豊富な金時草だが、土くさいことから消費者への浸透度は低い。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康食品「青汁」として飲みやすい形で商品化する。 ・ 商品は金時草を主原料とするが、リンゴやナシ等の下位等級品を使い甘みを加えるなど、地域性を活かした工夫も実施
5	シンクアドクライス 株式会社 (金沢市)	代表取締役 家倉 平八	七尾市	天然湧水と休耕田を利用したドジョウ・ゴリの養殖とそれに関わる加工食品、料理、調理器具への展開及び関連する野菜類の栽培	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カルシウムを豊富に含んだドジョウや、金沢佃煮に使用されるゴリは、そのほとんどが県外産。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天然湧水と休耕田を利用してドジョウやゴリを養殖するとともに、ドジョウ鍋や佃煮等の商品化を図る。
6	株式会社 田谷漆器店 (輪島市)	代表取締役 田谷 勤	輪島市	石川県木档(能登ヒバ)を活用した商品づくり事業	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 能登ヒバの切り捨て間伐材や製材くずを活用して「ボールペン」の試作等に取り組む。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 能登ヒバを心材に活用した「ボールペン」を含め、能登ヒバの切り捨て間伐材や製材くずを活用し、輪島塗を施した新たな商品を開発し、販売。
7	新崎・志ヶ浦地区 里海里山推進協議会 (穴水町)	会 長 岩田 正樹	穴水町	波穏やかな穴水湾の里海里山資源を活用した商品づくり事業	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年に磯の人口護岸の再生やクロダイの放流、耕作放棄地の解消に取り組むため、協議会を設立。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボラ待ちやぐら漁の復元や釣り筏での黒鯛釣りなどの体験観光を実施するとともに、オープンカフェを併設し、体験観光客等に米粉ピザの提供を実施。
8	有限会社 能登ワイン夢一輪館 (能登町)	代表取締役 高市 範幸	能登町	能登地域の農林水産物を活用した商品の開発と販路開拓事業	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大豆は地元産に拘り、能登の揚げ浜塩田で生産される「苦汁」を使った堅豆腐の燻製を「畑のチーズ」(98年能登物産コンクール金賞受賞)と命名し、販売。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの、能登町産のイカでつくる「いしり味」と海洋深層水の「塩味」に、新たに「味噌味」を加え、販路拡大を図る。
9	三谷地区 活性化推進協議会 (加賀市)	会 長 宮永 巖	加賀市	三谷地区の里山保全および地域資源を活用した新たな商品づくりと販売事業の創出	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加賀市三谷地区は、クマタカやオオタカなどが生息する自然環境に恵まれた地域だが、担い手不足による山林の荒廃や耕作放棄が進行。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸先端科学技術大学院大学や金沢大学と連携し、山菜、薬草、山野草を活用した健康機能食品を商品化。名水を使った農家レストランの運営や三谷地区の自然を満喫するグリーンツーリズムの展開。地元の陶石・陶土を使った焼き物などの体験指導や販売も実施。
10	輪島海房 やまぐち (輪島市)	山口 泉	輪島市	～里海の恵み～ 天然資源の有効活用事業	<p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輪島港で水揚げされても、規格に合わないばかりに市場に出すことのできない「未利用魚(アジ、サバ、フクラギ、タイなど)」が多い。 <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「未利用魚」を活用した加工商品を開発し、販売する。第一弾として、小鯛を活用した「小鯛のオリーブオイル漬け」を開発。第二弾では、豆アジを活用した商品。さらには、フクラギを使用した旨煮を真空パックした商品を開発予定。

※ チャレンジ支援・・・ 助成事業としての採択ではないが、来年度以降の事業採択もにらみ、外部の専門家を派遣することにより、事業計画のブラッシュアップをサポートする支援制度